

---

## 「初発多発性骨髄腫の治療における抗 CD38 抗体薬の役割」

### に関するお知らせ

---

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

#### 研究の概要について

##### 1. 研究の対象となる方

2019年8月1日～2026年2月1日までに当院で診断された初発多発性骨髄腫の方

##### 2. 研究の目的

抗 CD38 抗体薬を含む化学療法の有効性と安全性を検証し、特に従来 of 3 剤併用の化学療法が主流であった時期と抗 CD38 抗体を含む 4 剤併用の化学療法が導入された時期を比較し、治療成績や安全性、治療継続性の変化を明らかにすることを目的としています。

##### 3. 研究期間

病院長の許可後 ～ 2027年3月31日

##### 4. 利用または提供の開始予定日

2026年4月2日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

#### 研究に用いる試料・情報について

##### 1. 試料・情報の内容

本研究は通常の診療として行われ、得られた診療情報を使用いたします。

《本研究で取得する診療情報》

年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、身長、体重、喫煙歴、全身状態（PS：performance status）、血液検査所見、フローサイトメトリーによる細胞表面マーカー、免疫組織染色、染色体・遺伝子情報、画像情報、治療内容、再発日、生存確認日、死亡確認日

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター血液内科において、研究責任者である平田公美が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

本研究は、通常の診療として行われ、得られた診療情報を使用いたします。過去の情報のみを利用するため、研究用に新たな情報の取得や、血液検体等の試料を採取することはありません。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究機関名：埼玉医科大学総合医療センター

研究責任者：血液内科	助教	平田公美
研究実施者：血液内科	教授	多林孝之
血液内科	助教	高橋康之
血液内科	助教	永沼謙
血液内科	助教	川田泰輔
血液内科	助教	坂田憲幸
血液内科	助教	松永洸昂

## 4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター血液内科

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3471（血液内科直通）（土日祝日を除く 10:00～16:00）

担当：平田公美

○研究課題名：初発多発性骨髄腫の治療における抗 CD38 抗体薬の役割

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター 血液内科 平田公美